

## 編集 後記

いよいよ標準的な健診・保健指導プログラムの確定版が提出されました。途中紆余曲折がありました。それなりに現実的な仕上がりになった感じがします。実施まであと1年を切りましたが、関係各機関への情報の伝達が必ずしも順調に進んではいない様子が少し気掛かりです。大幅なシステムの変更であり、シミュレーションを含めた入念な準備が必要と思われます。健康日本21の反省を踏まえた今回の決定は、日本の保健医療の歴史の中でも特筆すべき転換点といえるものでしょう。どのような医療制度も完璧な制度はありませんが、少なくとも予防に大きな意味付けを与えた点については、評価できるものと考えます。日本人は欧米人に比べて肥満に伴う疾患が発症し易いと考えられており、今回の決定のもつ意義は大きいと思われます。あとは、保険者がこの制度をどう積極的に活用し、被保険者である国民一人一人がどう受け止め、日常生活の中で実践していくかが問われることとなります。前向きに受け止めたいものです。

(坂田清美)

## 6号予告(第54巻・第6号)

### 総説

インフルエンザワクチンの接種対象  
.....大藤さとこ, 他

### 原著

政府管掌健康保険データを用いた健康診断結果と  
10年後の医療費発生状況との関係  
.....北澤健文, 他

### 資料

「健康日本21」地方計画における事業実施と評価  
.....若林チヒロ, 他  
中学生の将来の自己喫煙予想と家庭環境および健康行動との関連.....若林チヒロ

**特定非営利活動法人 日本健康教育士養成機構**  
**「健康教育者のためのスリーデイセミナー'07」のご案内**  
**宮坂忠夫(特定非営利活動法人 日本健康教育士養成機構理事長)**

これでもいいのかメタボリックシンドローム対策「特定健診・特定保健指導」

主催：特定非営利活動法人日本健康教育士養成機構

協力：日本健康教育学会

期間：平成19年8月3日(金)～5日(日)

場所：麗澤大学(千葉県柏市)

テーマ：—メタボリックシンドロームに着目した協働と連携—「生涯にわたる生活習慣病の予防の進め方」

参加募集人数：40～50名

認定単位数：実践健康教育士のための4単位を認定(単位を希望しない方の参加も出来ます)

参加費用：単位を希望しない方30,000円(内訳：参加費5,000円、宿泊、懇親会・食費等25,000円)

単位認定希望者65,000円(内訳：1単位につき1万円、宿泊、懇親会・食費等25,000円)

問合せ：申込書送付先：〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田3-9-21

女子栄養大学 保健管理学研究室内

特定非営利活動法人 日本健康教育士養成機構研修係(担当：須賀)

TEL：049-283-2317 FAX：049-284-2861 E-mail: npohe@eiyo.ac.jp